

超創人財育成プログラム

2020年度受講生追加募集

応募資格

博士課程前期課程・一貫制博士課程の1回生および2回生・4年制博士課程1回生

【対象研究科】

スポーツ健康科学研究科、情報理工学研究科、理工学研究科、生命科学研究科、
薬学研究科(薬学専攻)、経済学研究科、文学研究科(地理学専攻)、人間科学研究科、
先端総合学術研究科、テクノロジーマネジメント研究科、経営学研究科

Introduction

研究に打ち込んでいる
あなただからわかる
社会とつながることの意味

このプログラムには
それを実現できる時間と場所が
あります

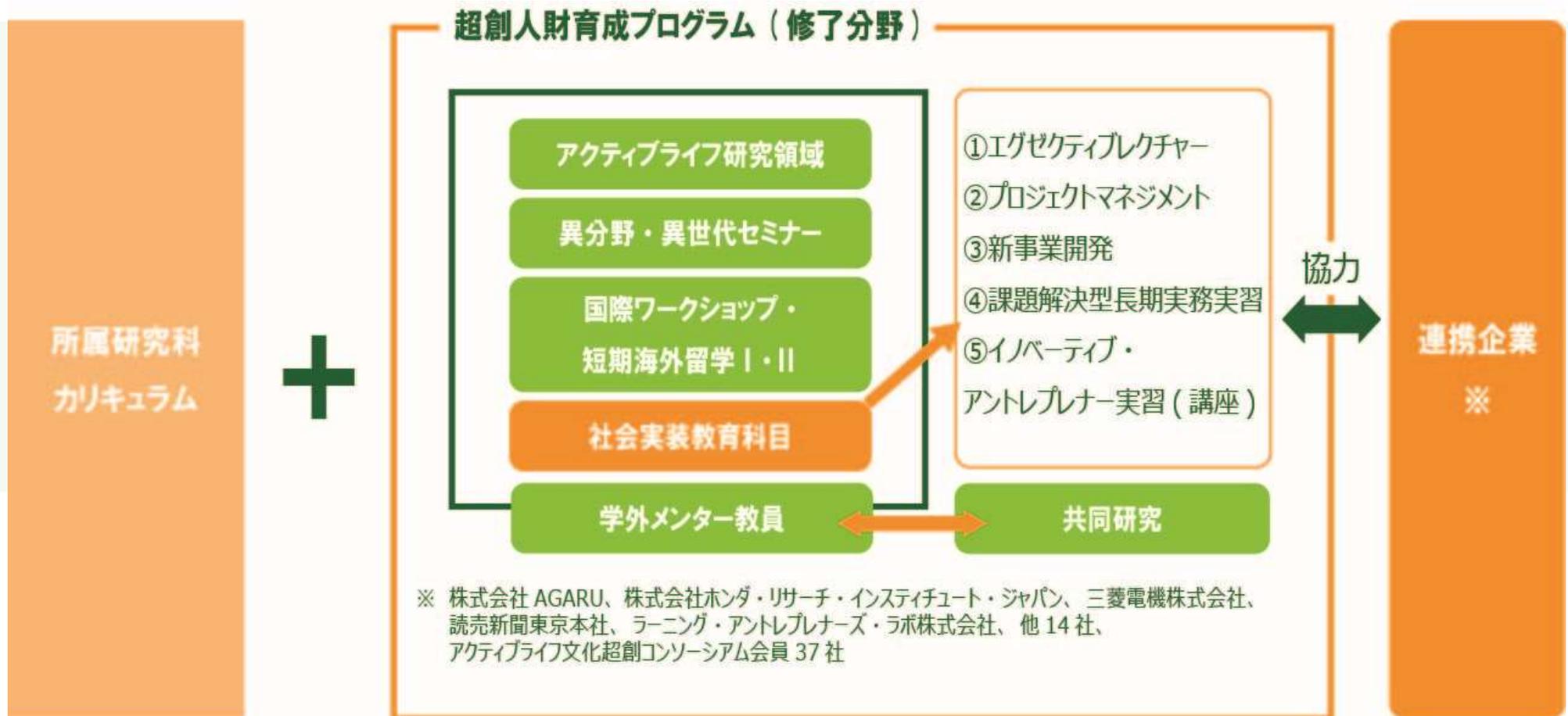
『超創』人材 とは

Creating a Future Beyond Borders
自分を超える、未来をつくる。

『アクティブ ライフ』とは

あらゆる個人の人生の質を向上し、
健康的かつ前向きに活動できる生活。

プログラム全体像

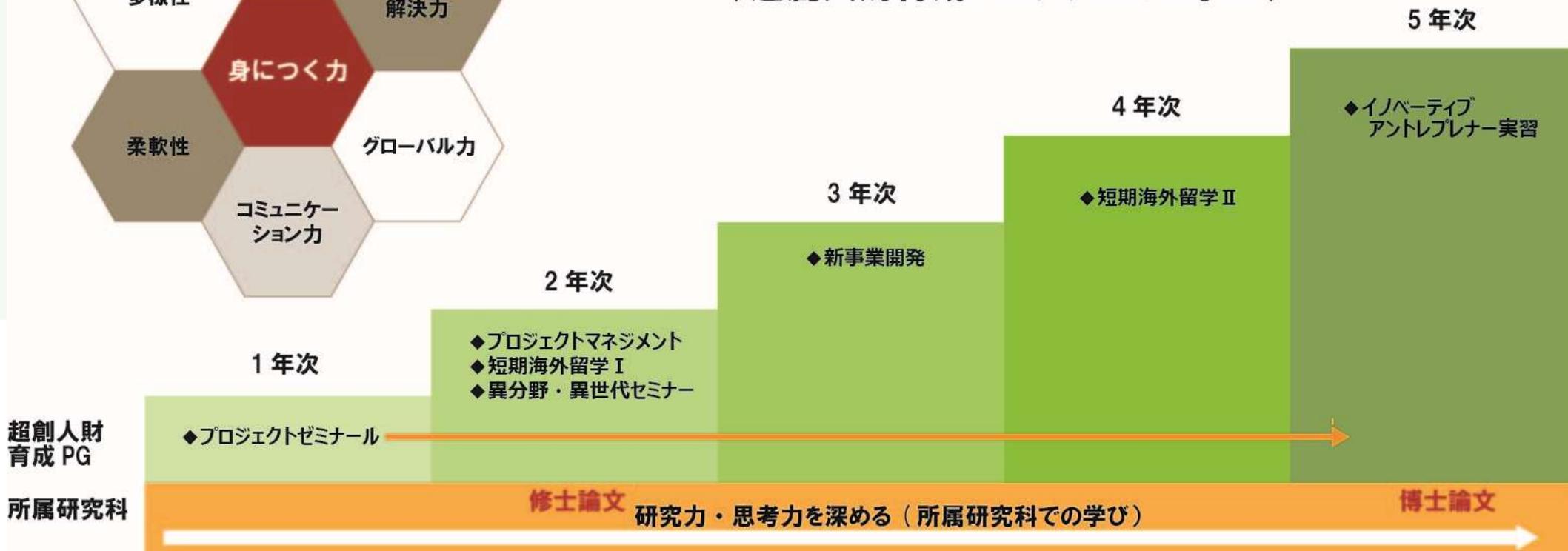


5年間の学び

所属研究科で学びつつ、超創人財育成プログラムにて、企業から学び、企業と共に研究する



企業から学び、企業とともに研究する (超創人財育成プログラムでの学び)



プログラムの特長

1

トライアングル
フォスター
指導制度

充実の指導体制

所属研究科の指導教員、学外メンター
教員(企業)、所属研究科コーディネータ
教員の三者による指導により、5年一貫
制の学びをサポートいたします。

2

連携企業との
繋がり

社会実装を学ぶ

社会課題の解決や経済発展を目指して、
研究で得られた新たな知見や技術を、
実態経営や実態経済の中に活かしてい
くことで、社会や経済に便益をもたら
すことを目指す研究開発を、連携企業
と探っていきます。

3

充実の
経済支援

超創独自の経済支援

自身の研究に集中できるように、超創
人財育成プログラム受講生のみ受給で
きる奨学金があります。

そのほか、経済支援もあります。

(P.12参照)

プログラム修了要件：必要単位数

アクティブライフ 研究領域 (A群、B群)

6科目 12単位必須
(履修指定科目から
4科目以上選択)

【履修制定科目】

- ◆データサイエンス特論
- ◆AIと機械学習演習
- ◆データ計測とシミュレーション
- ◆健康デザイン演習
- ◆健康ビジネス論
- 他

社会実装教育科目

4科目 8単位必須

【履修制定科目】

- ◆エグゼクティブレクチャー
- ◆プロジェクトマネジメント
- ◆新事業開発
- ◆課題解決型長期実務実習

講座

4講座受講必須

【履修制定科目】

- ◆異分野・異世代セミナー
- ◆国際ワークショップ
- ◆短期海外留学Ⅰ・Ⅱ
- ◆イノベティブアントレプレナー実習
- ◆学際的医療人プログラム
- ◆基礎医学と臨床医学の融合セミナー

必要単位数合計

20単位以上＋講座受講必須

プログラム修了要件:QE基準



▶ 第1QE(2年次秋学期)

- ① 社会実装科目の累計GPA3.5以上 ② TOEIC L&R Test600点相当
- ③ 研究成果と社会還元に関連に課する発表・質疑応答(日本語)
- ④ 今後の研究計画と到達目標

▶ 第2QE(4年次秋学期)

- ① 社会実装科目の累計GPA3.5以上 ② TOEIC L&R Test730点相当
- ③ 研究成果と社会還元に関連に課する発表・質疑応答(英語)
- ④ 学位論文の見通しとキャリア目標

▶ 第3QE(5年次秋学期)

- ① 社会実装科目の累計GPA3.5以上 ② イノベーティブ・アントレプレナー実習の課題設定・解決策立案及び成果
- ③ 5年間で国際学会2回の発表(査読付き)と、国際論文の掲載1報(査読付き)もしくはそれに準ずる成果(表彰・受賞、特許出願など)
- ④ 通算5週間以上の海外滞在



【プログラム修了要件】

プロジェクトゼミナール

企業や医療、行政、研究機関などから招聘した学外メンター教員とともに、自身の研究の「社会実装」の実現に向けて、理論と実践の授業を展開しています。受講生は、参加必須のプログラムです。

【メリット】

- 01 企業・医療・行政・研究機関との繋がり
トップで活躍する企業人がメンター教員に！
- 02 受講生に合わせたオーダーメイドゼミ
受講生、指導教員、メンター教員と3者でゼミを進められる
- 03 自身の研究を広い視野で捉えられる
大学での研究だけでは気づかない、企業からの『生きた』アドバイスがもらえるチャンス
- 04 研究成果を社会実装できる可能性
連携企業との共同研究に繋がる可能性もある

プログラム費用と奨学金



▶ 超創人財育成プログラム費用

本プログラムの費用は、**不要**です。

ただし、海外留学や学外における実習等は別途費用が必要です。

▶ 超創人財育成プログラム奨学金

1・2年次 60万円／年（参考：博士課程前期課程 学費760,600円～1,182,400円／年）

3～5年次 24万円／年、36万円／年、48万円／年※

（参考：博士課程後期課程 学費500,000円／年）

※QE審査の結果に応じて、支給額が決定されます。

▶ その他

『超創人財育成プログラム奨学金』の他に、各種研究助成制度(教学RA (50万円上限)※等)があります。※後期課程のみ

こちらも併せて、積極的に活用してください。

詳しくは、**大学院キャリアパス推進室HP**をご確認ください。

2019年度 受講生からのコメント

現在、大学発ベンチャーを立ち上げる事を計画しています。

連携企業からのアドバイスにより、研究成果の事業化に向けた用途発案の重要性など、気づかされることが多くあります。

W

情報理工学研究科
M2

S

スポーツ健康科学
研究科 M2

大学院で研究をしているだけでは、ビジネスの視点を持った現状分析や課題形成を行う機会がないので、新鮮な学びを得ています。

N

スポーツ健康科学
研究科 M2

企業の方から、大変良いアドバイスももらっています。自分の研究だけでなく、将来をどのように進んでいけば良いかなど、考える良い機会になっています。学びは大変だけど、充実した日々を過ごしているので、満足です。

G

理工学研究科
M2

僕にとって、超創人財育成プログラムを受講することは、挑戦でした。企業の方にメンター教員となってもらい、日々さまざまな学びを得ています。

学外メンター教員からのコメント

超創人財育成プログラムにご協力いただいている、企業より様々なコメントをいただいています。

1 ▶ ベンチャー企業

投資・起業・上場の経験から、事業の創り方・伸ばし方を皆様にお伝えできればと思います。

2 ▶ 生命保険系企業

本プログラムに大きな可能性を感じています。過去の成功体験にとらわれる事なく、【教育イノベーション】が生まれるよう協力していきたいと思います。

3 ▶ 研究機関

社会で求められる博士人材の強みは専門性に基づいて主体的に行動することだと思います。ゼミナールでは担当学生の主体性を引き出すような議論・指導をします。

4 ▶ 大手広告代理店

尖った感性を持つ学生が居るなという印象を受けています。是非、一緒に働きたいですね。

このプログラムを修了した後が楽しみです。

5 ▶ 大手電機メーカー

日本における「大学」と「企業」との人財育成のモデルとなるよう、企業内研究所に従事している者として協力できればと考えています。

6 ▶ 大手食品メーカー

我々、食品業界でも博士人材の必要性が高まっています。

このプログラムで学んでいる受講生は大変優秀だと感じていますので、今後の活躍を期待しています。

アクティブライフ 文化超創コンソーシアム

2018年、未来の健康文化を創造し、アクティブライフデザインをリードする超創人財を育成することを目的として、『立命館大学アクティブライフ文化超創コンソーシアム』を設立しました。

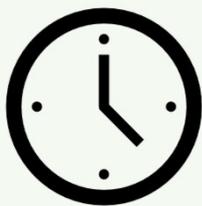
超創人財育成プログラムは、本コンソーシアムとの連携をとおして、様々な企業と繋がることができ、大学の学びだけでは得られない、様々な学び、体験を用意しています。

【コンソーシアム会員】 ※2020年4月現在

オムロンヘルスケア株式会社、株式会社NTTデータMSE、
株式会社クレディセゾン、シーメンスヘルスケア株式会社、
東洋紡株式会社、アシックスジャパン株式会社、他 全 37会員



応募について



応募期間／選考日

応募期間：2020年5月7日(木)～6月15日(月)(消印有効)

選考日：2020年6月22日(月)16:30～18:30

※面接はSkype等で行います。



応募書類

- ① エントリーシート(所定様式)：超創HPよりダウンロード
- ② TOEIC L&Rテスト スコア：(2年以内に取得したものに限り)



応募方法

[郵送]〒525-8577滋賀県草津市野路東1-1-1

立命館大学 大学院課 超創人財育成プログラム担当者 宛



超創人財育成プログラムは

『博士＝研究者』だけではなく、『博士＝卓越した企業人』の
排出も目指しています。

今、社会が求めている人材は、専門性だけではなく
グローバルな流れを俯瞰し、新しいモノ・コトと共生し、
さらに、チャレンジできる人です。

『未来の博士』となる皆様の応募をお待ちしています。



THANK YOU!

ANY QUESTIONS?

HP: <http://www.ritsumei.ac.jp/gr/aldp/>

Instagram: r_choso_pg

E-mail: ru-excel@st.ritsumei.ac.jp

Tel: +81 077 561 4941

